



# 3月 3・4・5 歳児

## クラスだより



国立ひまわり保育園  
令和8年2月28日

### 《 3歳児 もも組 》

- ・進級することに期待を持ち、意欲的に生活しようとする。
- ・自分の考えを主張したり相手の気持ちも認めながら、友達と協力して一緒に生活したり遊ぶ楽しさを共有する。
- ・春の自然を探し、季節の変化を感じる。

もも組では、言葉で自分の気持ちを伝え、そして、お友だちの気持ちを聞き、話し合う経験を大切にしています。

例えば、中当てゲームのようなルールのある遊びを始める前には、必ず、子ども達とルールを確認するようにしています。ボールに当たったらどうするか？鬼はどうやって決めるか？いろんな提案をしてくれるため、意見が分かれてしまうことは日常茶飯事です。最近では、意見が対立すると、「じゃんけんで決めたら？」「全部やったら？」と、解決のためのアイデアを出してくれるお友だちの姿がみられるようになりました。解決方法は、その場面だったり、その子どもたちの気持ちだったり、様々です。

「お互いに納得するためには、どうしたらいいか？」

毎日、生活や遊びの場面で、お友だちと試行錯誤しながら、お互いの気持ちを認め合う経験を積み重ねている子ども達です。



### 《 4歳児 ぶどう組 》

- ・進級への期待感を持ち、見通しを持って生活をする。
- ・思ったことや感じたことを自分なりの言葉で表現し、相手に伝える。
- ・気温差に配慮し、快適に過ごせるようにする。

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。ぶどう組では「てんとうむしみつけた、もうはるになってきたね」など身近な動植物からもうすぐ春が来るとい季節の変わり目を体感している様子があります。また、懇談会でもお伝えしたように「もうすぐ、すいかぐみ！」という進級への期待感を持って生活をしていく姿も多くなってきました。

3月は年間の締めくくりと共に1年間の成長を喜び合いながら「すいかぐみ」へ向けて当番活動や友達との関わり、言葉での伝えあいを大切に過ごしていけたらと思います。



<うどんづくり>

《5歳児 すいか組》

- ・就学への期待や不安を受け止められながら、安心して生活していく。
- ・園生活を振り返り、仲間の中で互いを認め合いながら楽しく過ごす。



卒園まで残り1か月となりました。子どもたちは就学への期待を持ちながらも、新しい環境への不安、大好きな友だちや先生と離れるさみしさを抱えながら、過ごしています。1月より、異年齢交流の時間や、他クラスの保育者とも関われる時間を増やしたり、小学校や、近隣の保育園との交流を行ったりと、卒園前に、園での思い出作りを行ったり、就学に期待を持てるような活動を取り入れたりしています。また、最後の集大成の場である卒園式に向けての取り組みも進んでいます。卒園式で歌う歌を初めてみんなで聞いたとき、思いが溢れ、涙を流す子もいました。子どもたちは様々な思いを抱えながらも、今までお世話になった人へのありがとうの気持ち、自分たちがここまで大きく成長したことを保護者の方に見てもらいたい、という気持ちを持って、真剣に取り組んでいます。最後まで、子どもたちのありのままの気持ちを受け止めながら、1日1日を大切に過ごしていきます。



- ・進級の機会に、衣服のサイズや記名（薄くなっていないか等）のご確認をお願いいたします。
- ・クラス移動の詳細につきましては、後日お知らせいたします

